

CUB / CUB-X

- ツインシェイプ、ツインフレックスで、完全な前後対称モデル。フリーライディングからパークまでOK！
- 基本をマスターしやすい、キャンバーモデル。
- 2x4インサートホールで、成長に合わせたスタンス幅がセッティング可能。
- キッズの体重や脚力に合わせたソフトフレックス設計。ターゲット体重のテストライダーが徹底テストしています！



ブーツが板の中心に来るようにセッティング！



CUB116 + 1 ピースブーツ (19.5cm)

CUB132 + 2 ピースブーツ (22.0cm)

2 ピースブーツは CUB132 以上で使用できます。

■正しいブーツセンターを！

116,126,132は、ブーツセンターが出しやすいように、インサートが予めオフセットされています。

この事により、ブーツセンターを容易に正しく出す事が可能になりました。

ブーツのセンタリングとセットバックを重視したセッティングを行うことで、ターン導入のしやすさを実現！

完全なツインシェイプ、完全なツインフレックスですので、どちらをノーズにしても OK。

レギュラーとグーフィーには、ノーズ・テールを逆にすることで対応します。

■ブーツ・バインの種類に注意を！

CUB116,126は、ワンピース（アウターとインナーが別々では無い）のブーツを使用する事を前提に設計しています。

2ピースブーツは、ボードからブーツが出てしまうので、使用できません。

ワンピース・ブーツは、HEAD, RASTARTS, SPOON などの BOA 仕様をお勧めします。

バインディングは、「SPOON」などのベースが小さく、尚且つ2ストラップのタイプを推奨します。

■身長と同じくらいの長さを選ぶ！

キッズモデルについては、一般的な「身長マイナス〇〇cm」や「アゴや鼻の高さ」と言った板の長さ選びの目安は適しません。（特にキャンバーモデルにおいては）理由は二つあります。

- 1、キッズモデルは、ボード全長に対するシャベル（ノーズとテールの反り上がってる部分）長の割合が多いので、結果的に有効エッジの部分がかかなり短くなります。
- 2、上記1の事とも関係しますが、実際にボードの上に立ってライディングスタンスをとってみると、足の位置と接点（板の一番広い部分）との距離が驚くほど短いことがわかります。
ボードをたわませる力は、最初にノーズ側の接点からボードに加わります。その時に足の位置が支点になるので、接点（=力点）と足の位置（=支点）が短いと、より大きな力が入ってこないためボードはたわみません。
つまり、キャンバーボードの場合はある程度の長さ（特に有効エッジの長さ）が有った方が、ボードをたわませやすいということになります。（但し、フラットやロッカーの場合はそうではありません。最初からたわんでいるようなものなので、キャンバーのようにしっかりボードをたわませなくとも、容易にターンができるからです。）